

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名:川崎市 建設緑政局

事業の名称:都市計画道路尻手黒川線整備事業

実施都市名:川崎市

事業目的

尻手黒川線は、幸区の横浜市境を起点とし、中原区、高津区、宮前区を經由し、麻生区黒川までの延長22.8kmの都市計画道路です。本市の南北を結ぶ重要な幹線道路であり、市内の拠点間の連絡強化を図るとともに東京横浜方面に向かう放射道路に連絡する役割を担っています。

尻手黒川線の整備により、道路交通ネットワークの形成による利便性の向上を図るとともに、新百合ヶ丘駅周辺に集中する交通を分散し、交通渋滞を緩和します。

事業概要

事業名称: 川崎都市計画道路尻手黒川線整備事業

路線名: 尻手黒川線

事業箇所: 麻生区上麻生4丁目～片平2丁目

事業延長: 約683m

幅員: 18～26m(2車線)

事業費: 約48億円

事業実施期間: 平成11年～平成22年※

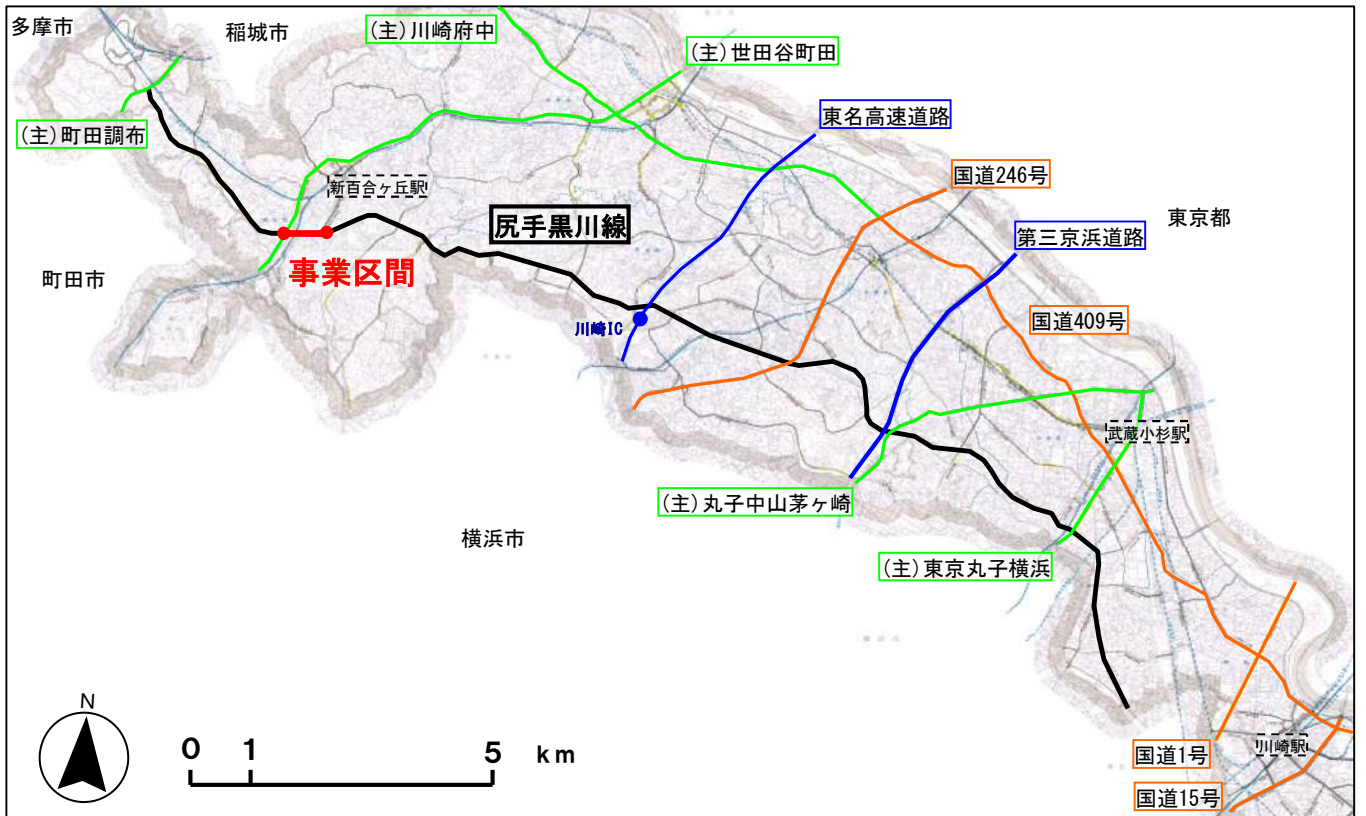
本事業では、現道の無い区間において、柿生大橋約130m及び平面街路約550mを整備しました。

新百合ヶ丘駅周辺では、急速な市街化や商業施設の立地などにより慢性的な渋滞が発生していました。このため、駅周辺を通過せずに主要地方道世田谷町田へとつながるバイパス機能として、尻手黒川線の整備が求められてきたことから、本事業により、新百合ヶ丘駅周辺の地区幹線道路である万福寺王禅寺線の混雑緩和を図るとともに、東名高速道路へのアクセス性が向上しました。

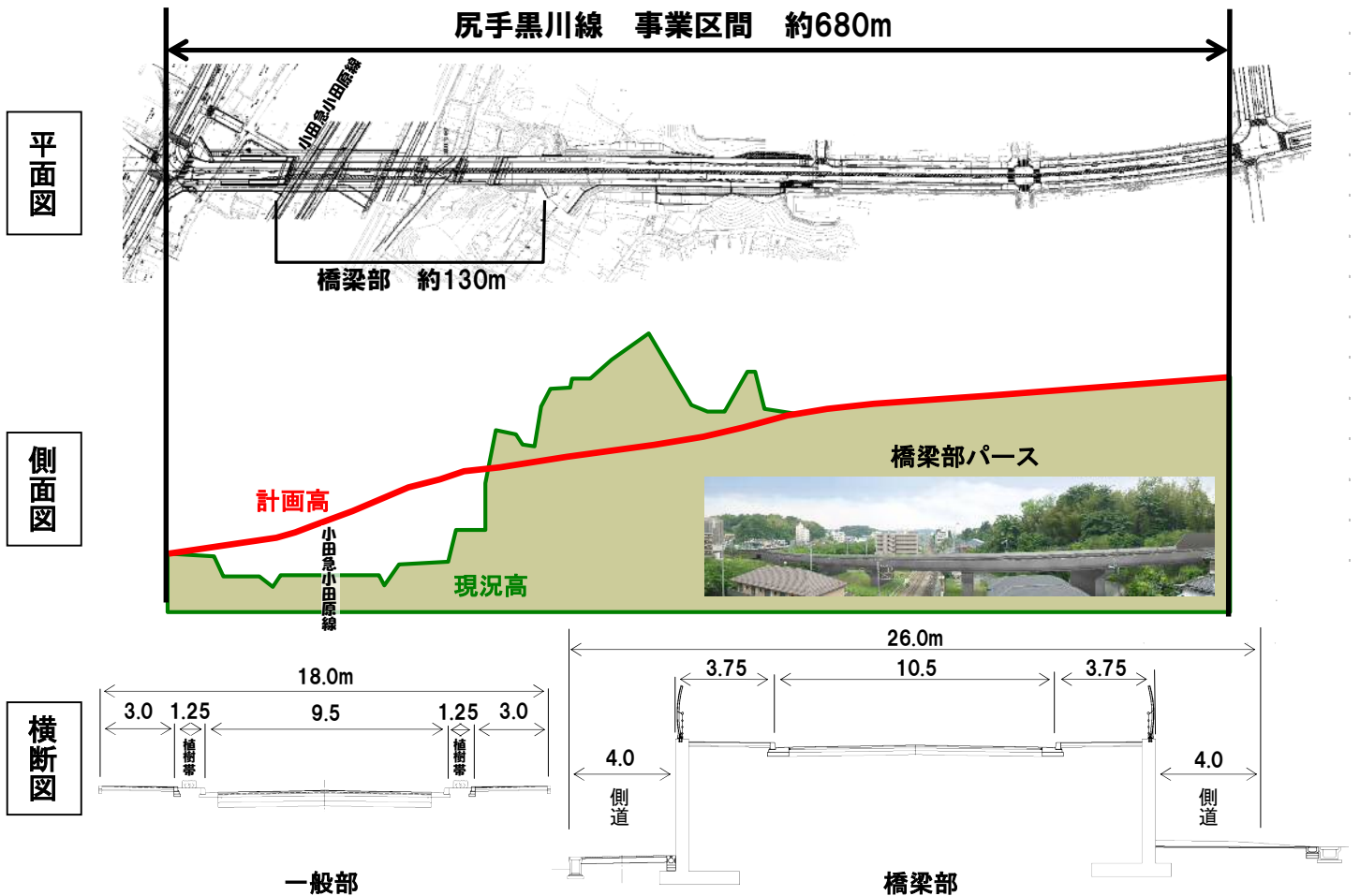
また、事業区間では、小田急小田原線と立体交差させるために、柿生大橋を新たに架橋することにより、鉄道による地域分断が解消されるとともに、既設踏切の交通量が減少し、踏切横断時の安全性の向上が図られました。

平面街路部においては、可能な限り植栽帯を整備し、沿道住環境の向上を図ります。

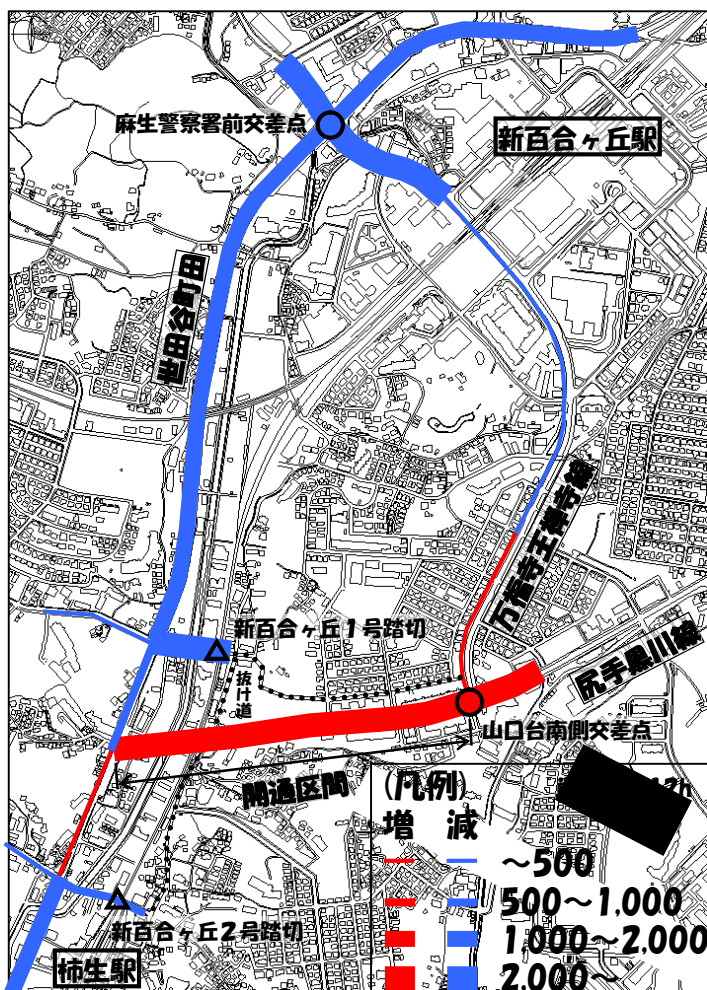
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



尻手黒川線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 川崎都市計画道路尻手黒川線
整備事業
路線名: 尻手黒川線
事業箇所: 麻生区上麻生4丁目～片平2丁目
事業延長: 683m
幅員: 18m～26m(2車線)
総事業費: 約48億円
事業期間: 平成11年～平成22年

○交通量調査結果

供用前 平成21年12月 1日実測
供用後 平成23年 2月22日実測
・交通量の推移(台/12時間)
尻手黒川線 — →6,846
万福寺王禅寺線 16,169→13,752
世田谷町田線 15,382→13,351
◎万福寺王禅寺線及び世田谷町田線の
新百合ヶ丘駅周辺で交通量が減少
◎鉄道との立体交差により地域分断が
解消するとともに、踏切部の交通量が
減少し、安全性が向上

「整備効果」

- 旅行速度の向上
・万福寺王禅寺線 16.1km/h → 21.3km/h
これにより、山口台南側交差点から麻生警察署前
交差点までの所要時間が約1分10秒短縮された
- 踏切部の交通量減により安全性が向上(台/12時間)
・新百合ヶ丘1号踏切: 4,375→1,707
・新百合ヶ丘2号踏切: 3,217→2,579

○住宅地への通過交通が幹線道路に転換し、住環境が向上

「その他の事業効果」

- 橋梁名を決める際や、橋梁下のトンネル整備にあたっては、
地域参加の手法を取り入れることにより、道路整備に対する
理解向上に努めた。
- 沿線住環境に配慮し、可能な限り植栽帯の整備を実施した。
- 公園整備の要望が多かったことから、本事業に併せて
「片平日向公園」を整備した。



事業前写真

平成20年1月撮影



平成16年5月撮影



平成18年3月撮影



事業後写真

平成22年12月撮影



平成22年10月撮影



平成22年10月撮影

